

夏季の水遊び

大阪市御津幼稚園 小山 ひで

私共の秒時も念頭を離れぬものは都市の小供の身體教育即ち體育で御座います。殊に我大阪は東京京都に比べまして尙痛切に是れを深く／＼考へねばならぬ様に出來て居ります。

或日金剛山頂に登りまして、あの黒い雲の様に見えるは烟の都即大阪の市中であると指されました時は我知らず身震ひをいたしました。不幸なは大阪市民、中にも前途を形づくる市中の小供は皆あの地獄の底に沈んで平氣で居るのであるかと思つて參りますと余りに文明の力、物質の力の恐ろしさに戰慄せざるを得ませんので御座いました。下山の途中同伴の人々に怪まれる程口も利かずに其事のみ考へて居りました。そして市中の幼兒を預る自分の責任の重さをひし／＼と感じました。

其結果第一に頭に浮びましたのは夏期休暇中に

幼兒の體格が其前月に比べまして著しく退步するといふ事實を幾分か防ぎたいと云ふ心から出た園舎開放で御座いました。大阪の街として比較的廣い場所を占めて居る園舎を閉ぢ置く一方に其園兒が狭い風通の悪い家の中で間食と我儘に依つて僅に感安を得て居ると云ふ矛盾はどうして幼兒の體格をよくしてよいものでございませう殊に小學校の課業は學業で御座いますから休暇の必要が或はあるかも知れませんが幼稚園は幼兒の全生活である遊戯の場所では御座いませんか、其なれば毎年八月に幼兒の生活即遊戯が中止しない以上は全然休園をさすといふ事は意味のない事ではありますまいか。

併し酷暑の折柄設備する所なく他の時期と少しも變らぬ保育をいたしますは却て幼兒の身體を損

じる恐があるかも知れませんが其時期に相當する設備をいたしまして適當な方法に依つて其生活即ち遊戯を全うせしめます事が出來ますならば幼兒の幸福は言を待たぬ事であらふと存じます。

そこで何か適應した設備もがたと考へて居ります内いつか上京の際東洋幼稚園の水遊びを拜見いたしました。事を思ひました設備は充分でないと園長様から伺ひましたが其方法なり先生方の御努力によつて喜色の溢れて遊び居つた幼兒の顔が深くく私の頭に印象いたしました其が當事者からこの水遊びの計畫を經濟的の困難のため斷然に拒まれたのを數回押しかへし遂に初志を貫く事の出來ました努力の原動力となつたので御座います、それでいよく其れに着手いたしましたのが全體私は無經驗な所へ粗忽な性質が手傳つていつも何を計畫いたしましたしても失敗を重ねて困ります。この水遊びの設備なり保育も又この轍を履みまして種々理想と實際が伴ひません事が出來ましたこれも

一つの經驗で何かの御參考になりましたならば甚の事に存じますから理想と取りませ申上る事にいたします。

第一設備

1、場所として水遊び中は日蔭で他の時間には日光の直射する所(園の東に片寄つた藤棚下)を撰びました。其れは水に侵りました所を自然に乾燥さして消毒する必要からでございます。

但し水道を引くに便宜殊に噴水設備に餘り多額の費用のかゝらぬ所又他の遊び場所の防害にならぬ事などにも注意いたしました
2、庭園が幼兒數の割合に狭いものですから冬季には蓋をいたしまして其上部に砂利を入れ一般運動場と平均にいたしました。

3、池の周圍に田舎式の趣を添へます爲に焼杭を四隅に立て蘆其他の水草様のものを植えます積りで御座いましたが水道の鉛管に妨げら

れまして半ばも理想通りに出来ませんでした
4、外廓と内部との間に一段を設けまして遊び
臺又は腰掛等にいたしました。が時には水浴を
しないでこの段から水遊びばかりいたします
事もございます。この時は猿股を穿ち裳を高く
揚げ掬網を持つて魚を取るもの水鐵砲、ポン
プ等で遊ぶもの等御座いまして又一興で御座
います。

併し作りますについて其形に餘程苦心をいた
しました。幾何學的の形にいたしますと湯槽の
様になり、犬だとか猫だとか幼兒的のものに
致しますと、其が爲に場所をとり遊ぶ面積が
減じます、色々考へました末蝶の型をとりま
した。但し角は凡て搔落しまして危険を防ぎま
した。

5、水をいつも清くして置くといふ事と幼兒が
水に入りました際足部に一種の刺激を與へ快
感を覺えさせたい目的で水底三寸ばかりに小

砂利を入れましたが全く失敗に終わりました。そ
れは幼兒に快感を與へますことは豫想通りで
御座いしましたが水の濁ること夥しくて、どん
なに善く掃除をいたし置きましたも一度幼兒
を入れますと泥水に化しまして用を致しませ
ん、これは排水口を其噴水口に近づけて造つ
た爲だと悟りましてやむを得ず小砂利を引上
げました後で考へて見ますと送水口は一方の
隅、排水口は其反對の隅に致しまして次第に
低く斜面に造り常に送水を致しましたならば
田舎の小川の様な美さを保つて居る事が出来
たかと存じます。

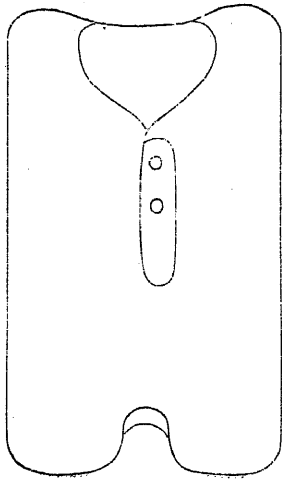
6、噴水口を池の中央に開き其螺旋は細大分合
意の儘になる様な舶來品を用ひました、殊に
注意いたしましたのは幼兒の入水中は其先を
水面より上に顯はし船だとか盟を入れます時
はこれを根から抜きとりまして危険のない様
にいたしました事でございます。

7、魚の逃げ場所を池の横に作りましたがたゞ一方だけに穴を造つて置きましたために活動的な幼児は何で見逃しませう穴に掬網を入れまして搔廻はして魚を休ましませんまだ一曲りも二曲りもあるものを造る必要を感じませんでした。

第二保育用具について申上ります。

1、至極簡単な圖の様な水泳服をつくりまして幼児等が自分の手で自由に着かへ得る様になりました。

表

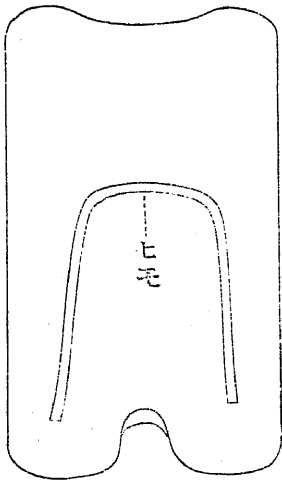


右は防水布で造りましたから直接身體に水の浸み入る事が少くて衛生上都合よく其上簡單でございまして布が僅かしか要しませず動作も輕快に出來ます殊に盛夏の季節で御座いますから早くからこれと着かへさしまして涼しい木蔭又は廣い會集場で自由に遊ばして置きますのに適當でございます。

2、吳座數板

會集場に排べまして角力場とも繪本觀察場とも聽話席とも喫茶所とも致しますが水に入り

裏



ましても後は濡れた衣を脱ぎまして手拭で全身を拭ひましたり耳綿を除きましたり専ら身體の跡仕末を致します爲に用ひます。

3、繪本數冊

水泳前後に於きまして靜止的に之を要求する幼兒の爲に備へ觀察力又は理解力を練習致します。

4、耳綿

脱脂線を用意致しまして幼兒の耳に入れ水の浸入を防ぎます。

5、魚

魚を入れますのは種々の點に於て幼兒の興味を惹くもので面白うございますが餘り適當なものがない御座いません。

イ、泥鰌　ロ、鮒　ハ、金魚　ニ、鯉

ホ、鯉　ヘ、目高　ト、蛭　チ、龜

リ、蟹

イ、泥鰌は網で掬ひましたり摺みましたり興

味津々でございますが比較的弱くて不經濟

でございますけれども一時的に幼兒を喜ばすものは之に上越すものは御座いません。

ロ、鮒は泥鰌に比べまして價も高く面白味も少なう御座います。

ハ、金魚は觀賞的で幼兒の同伴にはなりません。

ニ、鯉は價が高くありませんが最強く池の遊び六十日間幼兒の相手になりまして或時は摺まれ或時は追廻され又或時は掬はれまして既に危く見えました事も數回御座いましたが弱りませず平然として泳いで居ります。

ホ、鯉は價が高くて弱う御座います。

ヘ、目高は價が廉で興味深く遊べますが排水の時に取逃す憂があります。

ト、蛭は池の底に豆砂利を入れましたならば是に混じまして採らします、これは採集的

の興味を湧出させ延いて感覺の練習になります。

チ、龜は逃げ易く興味が少なうございます。

リ、蟹は幼兒を挟みまして危険で御座います

6、玩具

イ、掬網　ロ、手桶　ハ、如露　ニ、漏斗

ホ、船種々へ、笹葉　ト、木屑　チ、バケツ

リ、水鐵砲　ヌ、ピンボン球　ル、同臺

オ、福助桃太郎のカチ〜（サイフホオン應

用）

ワ、散水電車　カ、ポンプヨ、蒲鉾板製下駄

タ、其他

イ、掬網は細かい程面白う御座います。

ロ、手桶　ハ、如露ニ、漏斗　ホ、福助のカ

チ〜　バケツ　ハチマ人形等は女兒に迪

へられます。

ハ、船の種々は紐をつけて置きませんと活動

的になりません。

ニ、笹の葉は船を造りましたり其他種々の細工をして水に浮べます。

ホ、木屑は船積用又は色々な素材玩具として

使はれて居ります。

ヘ、水鐵砲は水泳服を着けました時に限つて

つかはしますそれは衣服を濡らす虞がある

からでございます。

ト、ピンボンの球は噴水の出口に使ひますと

舞ひ上りまして美しうございますが餘り觀

賞的に過ぎまして他に比べて喜びの少ない

方で御座います。

ム、蒲鉾の板又は平たい五寸角ばかりの下駄

の非常に面白う御座いますそれを穿ちまし

て水に入りますと浮力の爲容易に歩まれます

せん。そこで面白味があり又得る所がある

ので御座います但しこれは大小種々のもの

を備へまして其面積の浮力に關係すること

を知らしたいと存じて居ります。

り、船は經濟と都合で買ふ事が出来ませんので盥を代用に致しました所、角がない爲危険が少なくて應用に便で且幼兒の自由になり船に勝る事數段で御座います之は止むを得ずして成功致しました。

7、足場の板

衣服を替へましたり又玩具を取ります際に洗足で御座いますから衛生上の危険を慮りまして面の滑かな細板を道筋に置きました。

8、圓木橋

少し池の一方へ片よつた所に徑八寸ばかりの面の滑かな圓木を渡しまして渡る面白味に飛臺を兼用いたします事を加へました。これも比較的成功的部でございました。

第三保育上の注意

1、體温を驗温器で一々側りまして平常より高い時は止めさせますつもりで御座いましたが非常に手数が掛りまして實行が出来ません遂

に保姆の中の衛生の心得深き人に手心で大略熱の有無を測つて貰ふ事に致し又一方家庭にも通じまして幼兒の身體に異状のある時は通知を願ひました。

2、水に入る時間は五分間位と豫定致しましたが幼兒の喜びの度に比しまして餘り短時間で本意ない有様でございますから其日の氣温又は幼兒の年齢に依りまして十分迄は許すことに致しました。

3、止めの合圖を嚴守致します事に約束を致しました面白味に任しまして恣に致すことを禁じましたが困難なく實行が出来ました又水よりに上がり衣を替ふる迄に寒さを感じません爲に水泳後二分間馳足を致させました心身ともよい結果を得た様でございます。

4、盥とか板下駄其他の玩具を與へました時は水の壓力又は浮力權衡等を知らす事に勉めましたが幼兒から發問致します事が多く御座い

ます。其機會を利用致しまして種々指導致さねばならぬ必要を感じました。

5、男女兒を混じますといふ事は衣を替へます時に於きまして赤裸々になりまます爲に性の方面からも面白くない感じを致しました事と水に入りましてからの活動振りが全く異つて居ります爲に相互の迷惑を鑑みまして男女別に致しました。

6、當大阪は水の都でありながら先天的に水を恐れる氣象がありますそれは川邊に行きまして過つて溺死致すものが多いからでありますこの爲に遣傳的に年少女兒の中に水を恐れるものが一二御座います。これを誘導致しますには初回に於きまして水の量を少なくし馴れますに従ひ次第に其量を増す事に至しました7、氣温に依りまして遊びに二種御座います可なり涼しい日は衣を替へませず裳をからず猿股を穿たしまして直接水の中に體をいれませ

んで池の側から遊ばします又暑いと思ひます日は水泳服と更さしまして水中に入るを許します。

實際保育狀況(其一)八月四日快晴 九十度

定刻に先つこと一時間はや續々と入り来る九十度の炎暑を小さな洋傘に、避けつゝ手拭ひ片手に甚平姿の輕き装ひしてまづ笑顔を先に先生お早やうの挨拶もこゝ暫くは互に相見ぬ事とて懐かし氣なる模様は其目の奥によまれたり、草履はき替ふる暇もあらばこそかけよりにて双の袂にすがり付くにぞ保姆は先づ云ひ知れぬ嬉しさに暑さも稍や忘れたり定め時刻に一堂に集りし幼兒の總數三十五名長兒に比して好成績なりといはざるべからず、疊敷きの上にて園長より水遊びに付きての御話を承り豫定の場所にて互に扶け合ひつゝ暫時に水泳服に着替へたり。いざとばかり各兒に好む玩具を取らしめ池の周圍へ連れ行きぬ。

流石に年少兒の故を以て暫時は躊躇の體なりしかば自分は早速裾端折り水中をジャブ〜日頃元氣なる男の兒を數名池の中へ連れ行きたり、之を目撃せる一同は稍々色めき來たりしかば皆々水中へ水中へと導き水鐵砲に鎗掴み盟の御船等右往左往に入亂れたる様恰も歡聲に満ちたる水戦争の如く就中高林龍子一人平然と盟の御船に乗り大勢のものに押さしめよつしよい〜は頗る愛嬌なりき。かくて十分の時に到りしかば一同を會集場に入れ各自持參の手拭ひにて全身を拭はしめ常の装に

『菊ちやんの新遊戯』(アルコット) (三)

〓 英文學に現はれたる子供(三十二) 〓

ならしめたり用意の麥茶は直に運ばれ心行くまで咽喉を濕しぬ。幼兒は繪本觀察自由談話等の拘束をも受くる所なく全くの自由界に遊べるなりき十一時を合圖に一同圓座を作り園長より面白きお伽話をきき又の日を約し各自歸路につく。兒等の歸宅後今朝よりの有様を心に浮べ我知らず微笑を漏さざるを得ざりき是蓋し純日本の家族なる今日の保育が幼兒を歡喜せしめ延いて我等の満足となりしにはあらざるか。

岡 田 み つ

其午後は一同がまあ菊ちやんに御世辭を使つた事！ トムといふ子はまだ當てもないのに自分の

庭の果實を寄附する約束をするし、ネッドは無賃で薪まきを供給するといふし、ナットは明日とも云は